

新企業群

飲食店やホテル、清掃用具のリース、介護、葬祭…。個人や企業に多様なサービスを提供している東洋観光グループが掲げるのは「総合生活提案企業」だ。今年から、お好み焼きチェーンや日本料理店などグループの約六十店舗の飲食店やホテルから出る食品廃棄物を有機肥料にリサイクルする新事業にも進出。環境や食の安全に配慮した「循環型グループ」を目指す。

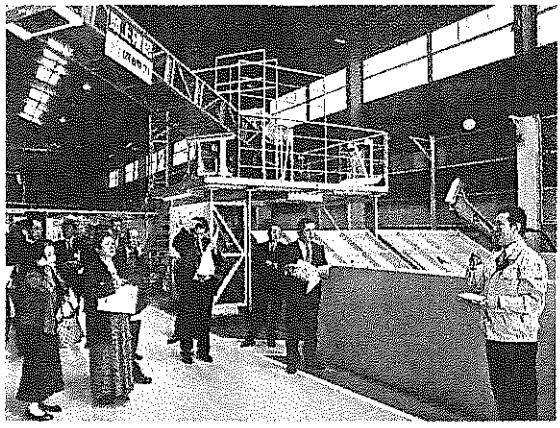
(金谷明彦)

東洋観光(広島市中区)

生活密着サービス提案

グループ企業で、清掃からの食品廃棄物のリサイクルリースなどの西日本リネンサプライ(広島県海田町)が広島県北広島町に建設し、今年三月に稼働した「北広島エコファクトリー」。調理時に出る野菜くずなどの食品廃棄物を発酵させ、有機肥料を製造する。

処理能力は一日五十トで、中国地方では最大規模。グループ外のコンビニ弁当の製造工場などから出る食品廃棄物を一日十ト受け入れている。グループの飲食店やホテル



東洋観光グループの西日本リネンサプライが建設した「北広島エコファクトリー」(広島県北広島町、5月の見学会)

予定。大手食品スーパーや外食チェーンからも問い合わせが来ている。

業の需要も大きい」と手

法施行に対応

食品リサイクル法(二〇〇一年施行)が食品関連の製造、流通、外食業を購入し、グループの飲者に本年度末までに食品廃棄物を二割削減するよう求めているのに対応するため、新事業への進出を決めた。西日本リネンサプライの安田秀一郎社長は「今後、どれだけ廃棄物をリサイクルしてい

るかが企業イメージにつながる。グループ外の企業

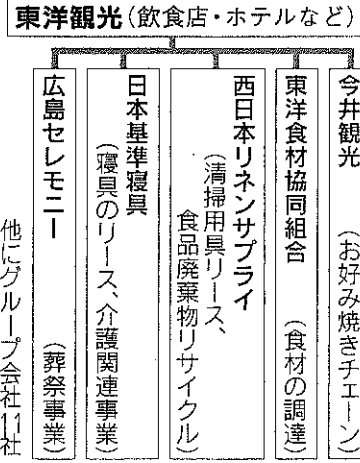
お好み焼きチェーンの「徳川」。グループの今井観光(中区)などが広島県内を中心に約二十店舗を展開する。約二百七十年続いた徳川幕府にあ

環境事業・食の安全に力

△東洋観光グループ▽月に設立し、当初は映画親会社の東洋観光とグループ会社16社の計17社で構成する。グループの創業者は今井誠則代表の父で、前代表の故・広氏。東洋観光は1954年7

月設立し、当初は映画館などを営業していた。その後、ホテルや飲食店に進出。グループでは現在、企業の社員食堂の受託や、自動車リース、不動産仲介などの事業も展開している。グループの従業員は正社員、パートを合わせて約1400人。2005年度の売上高は前年度とほぼ同じ約255億円。

東洋観光グループの組織図



形式の「からたちの花」をオープンした。

飲食店に加え、グループが展開する「ひろしま国際ホテル」と「ホテルセンチュリー21広島」で使う食材は、グループの東洋食材協同組合(南区)が一括して調達。グループが効果で食材の購入価格を引き下げている。

十七社で構成するグループは少子高齢化が進む中、介護関連や葬祭事業にも進出している。病院やホテルの寝具のリース(安佐南区)は広島、山口、岡山の三県で「エコール」ブランドの福祉用具レンタル・販売や訪問介護事業を展開する。

葬祭事業では、広島セレモニー(廿日市市)が広島、廿日市市に斎場を運営する。グループ全体で、食に加え、冠婚葬祭も含めた人の一生のサイクルを通じ、生活密着サービス提供を強化する。

東洋観光グループ 今井誠則代表



ホテルや飲食店の営業を通じて入学や就職、結婚、出産、還暦など人生の節目

での演出をお手伝いし、地域で愛される企業グループでありたい。飲食部門では、顧客の健康志向

高齢化に向け 介護関連強化

の高まりに配慮するため、より安全、安心な食材を選んでいく。また、飲食でも今後、環境への配慮が厳しく求められるようになる。食品廃棄物をリサイクルする事業にも先行的に取り組み始めた。

団塊の世代の大量退職が始まるなど今後、高齢化が一層進む中、介護関連の事業も、もっと大きく育てたい。

形式の「からたちの花」をオープンした。